

ブラジルのポピュラー音楽～ショーロの魅力

ブラジル音楽というとサンバとボサノバが有名ですが、19世紀中ごろに確立し、その後登場したブラジル音楽にも影響を与えた「ショーロ」というポピュラー音楽があります。ブラジル人にとっては懐かしい響きを持つショーロは今でも根強い人気を保っていると言われています。日本のギター愛好家は、ブラジルのバッハと呼ばれたヴィラロボス作曲の「ショーロ第1番」や「マズルカ・ショーロ」を思い浮かべるかも知れません。筆者も40年以上前に「ショーロ第1番」の甘味なメロディに魅せられ、この曲をマスターしレパートリーに加えた覚えがあります。また、日本では1989年に「ショーロクラブ」というショーロの伝統的演奏スタイルをベースとした器楽グループが結成されています。

ショーロは、フルートやサクソフォンなどの管楽器、ギターやバンドリン(ブラジルのマンドリン)やカヴァキーニョ(ブラジルのウクレレ)などの弦楽器、パンデイロというタンバリンに似た打楽器で演奏されます。基本的にはインストルメンタルですが、歌を伴うこともあります。ショーロのルーツはヨーロッパの宮廷音楽、特にポルカなどの宮廷舞曲にあると言われますが、その背景にはブラジルの歴史が深く絡んでいます。

ポルトガルの植民地であったブラジルが宗主国から独立を果たす契機となったのは、19世紀初頭にフランス皇帝となったナポレオンが、イベリア半島に勢力を伸ばし、1807年にはポルトガルに侵攻しリスボンを陥落、翌年にはスペイン王位を篡奪(さんだつ)したことです。このため、ポルトガル王朝は当時植民地であったブラジルに逃れ、ポルトガル・ブラジル・アルガルヴェ連合王国を建国しました。その後、ナポレオンの失脚とポルトガルに自由主義革命が起ると、連合王国の国王ジョアン6世がポルトガルに召還されることになりましたが、ペドロ王子はブラジルに残り、1822年にはペドロ1世として即位、「ブラジル帝国」を建国しました。ブラジルが共和制となるのは1889年のことですから、19世紀の大部分は王国であったことが分かります。このため、ヨーロッパの宮廷文化がブラジルに持ち込まれ、当時の首都であったリオデジャネイロには19世紀のヨーロッパの雰囲気が残されることになりました。ショーロはこのような背景からブラジルに持ち込まれた宮廷音楽が、アフリカのリズムと結びついて成立したと考えられています。

ショーロがヨーロッパ音楽を母体とするように、サンバはアフリカ音楽、ボサノバはアメリカのジャズに強く影響を受けていますが、それぞれが影響し合って独自の音楽を形作っています。明るくダイナミックなサンバ、都会的で軽快なボサノバに対して、ショーロは軽快なリズムに乗せた哀愁を帯びた品の良いメロディが特徴で、ポルトガルを追われた宮廷貴族達の悲しみが織り込まれているのかも知れません。音楽の中にその国が経てきた長い歴史が埋め込まれていることが分かれば、音楽に別の魅力を発見することに繋がるような気がします。

<関連するファンドに関わる事項>

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により、基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書(交付目論見書)」および「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

お客様には投資信託のご購入にあたり、以下の費用をご負担いただきます。

- 購入時に直接ご負担頂く費用
 - 購入時手数料 上限 3.78%(税込)
- 換金時に直接ご負担頂く費用
 - 信託財産留保額 上限 0.50%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担頂く費用
 - 運用管理費用(信託報酬) 上限年 2.16%(税込)
- その他費用
 - 上記以外に保有期間などに応じてご負担頂く費用があります。「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面(目論見書補完書面等)」などをご確認ください。

*上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、HSBC 投信が運用する全ての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用項目における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、かならず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

HSBC 投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 308 号

一般社団法人 投資信託協会会員 / 一般社団法人 日本投資顧問業協会会員

当資料のお取扱いにおけるご注意

当資料は、HSBC投信株式会社(以下、当社)が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資信託等の売買を推奨・勧誘するものではありません。

当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。

当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。

当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。